

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書 2020年 6月 1日	
鹿児島県知事 三反園 訓 殿	
提出者 住 所 鹿児島県霧島市国分山下町1番1号 氏 名 京セラ株式会社 鹿児島国分工場 代表者 工場長 野元 浩一郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0995-46-1100 担当者 今村 暢彦 電話番号 0995-46-5801	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	京セラ株式会社 鹿児島国分工場
事業場の所在地	鹿児島県霧島市国分山下町1番1号
計画期間	20年 4月1日 ~ 21年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：電機機械器具製造業 小分類：その他の電子部品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：162,703百万円
③従業員数	4,850人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 廃棄物処理工程図

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 特別管理産業廃棄物に係る管理体制

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（19年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	排出量	別紙内訳書	t
	(これまでに実施した取組) ・有価物化を図り発生を抑制した。 ・排出部署へ廃棄物発生量の抑制を図った。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	排出量	別紙内訳書	t
	(今後実施する予定の取組) ・上記を今後も継続し、発生の抑制を行って行く。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・発生する廃棄物は細かく分別し、接触等による事故を未然に防ぐ。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も同じ様に継続して行く。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（19年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙内訳書	t
	(これまでに実施した取組) ・実施無し。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙内訳書	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定無し。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（19年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・実施無し。			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙内訳書	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	別紙内訳書	t
(今後実施する予定の取組) ・実施無し。			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（19年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙内訳書	t
	(これまでに実施した取組) ・実施無し。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙内訳書	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施無し		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（19年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	全処理委託量	別紙内訳書	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙内訳書	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙内訳書	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙内訳書	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙内訳書	t
	(これまでに実施した取組) ・処理委託基準を遵守し、処理委託業者の現地確認等を行って行く。		

②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙内訳書
	全処理委託量	別紙内訳書 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙内訳書 t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙内訳書 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙内訳書 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙内訳書 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も同様に継続し、現地確認等を行い廃棄物管理、業者管理をおこなって行く。	
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（19年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	別紙内訳書
	(今後実施する予定の取組) ・適切な伝票発行、処理状況確認をおこなって行く。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハマまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 廃棄物の種類が複数ある場合この表を使用してください

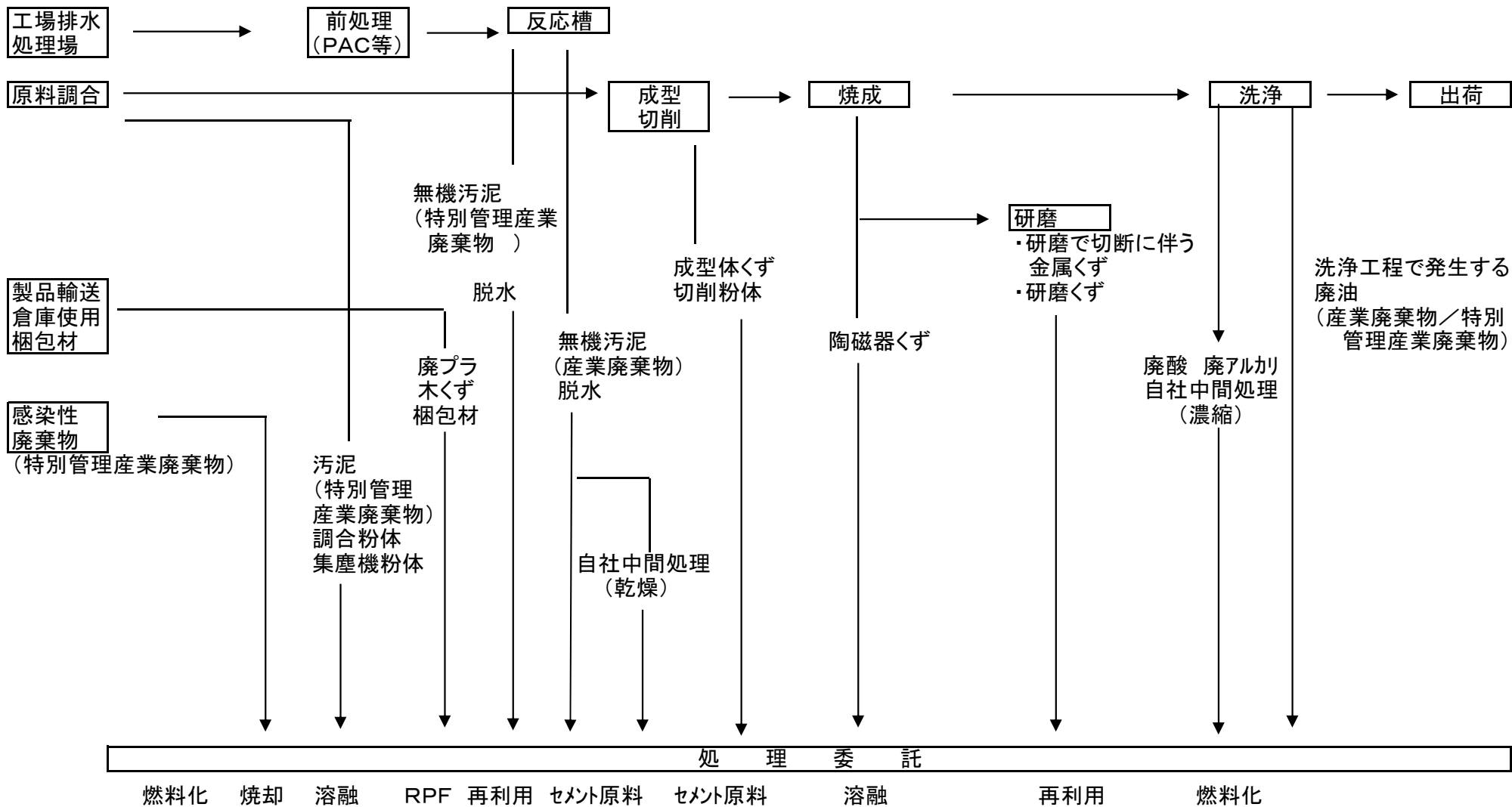
別添内訳書

(お願い: 2種類までは計画書に記載することができますが、集計が便利になりますのでなるべくこの表に記載してください)

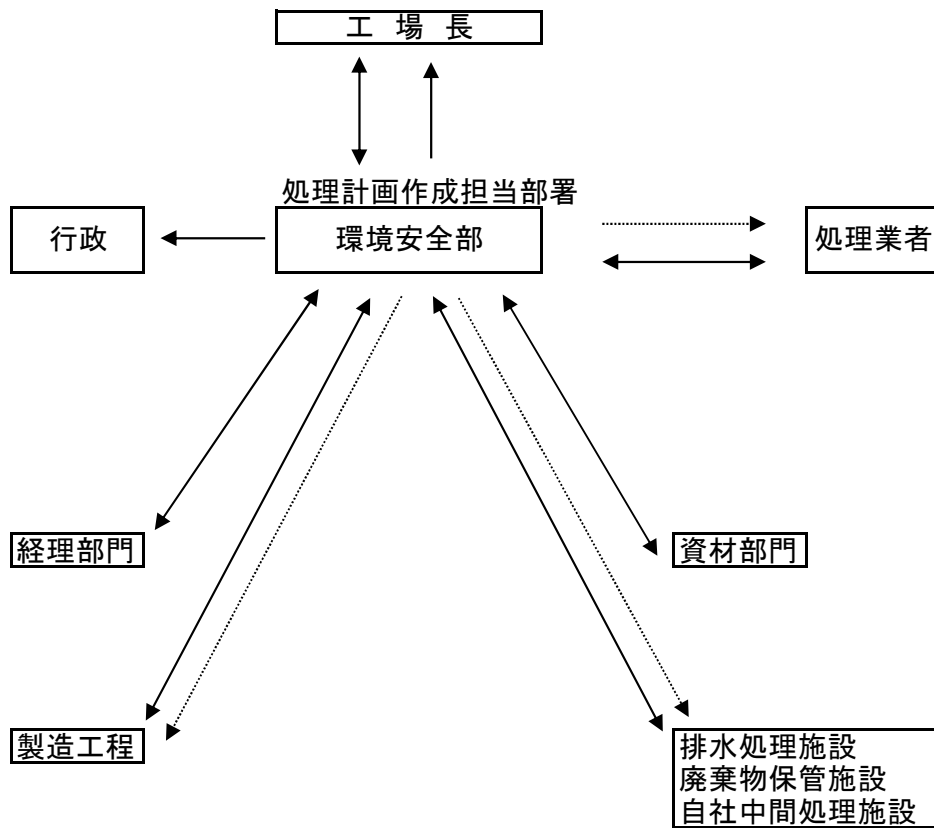
数字(t)

廃棄物の種類		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物							合計
廃棄物の排出の抑制に関する事項													
①現状(19年度実績)	排出量	1.40	97.92	0.01	0.17	0.01							99.50
	②計画(20年度計画)	1.57	109.67	0.01	0.19	0.01							111.44
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
①現状(19年度実績)	自ら再生利用を行った量	0	0	0	0	0							0
	②計画(20年度計画)	0	0	0	0	0							0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
①現状(19年度実績)	自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0							0
	自ら中間処理により減量する量	0	0	0	0	0							0
②計画(20年度計画)	自ら熱回収を行った量	0	0	0	0	0							0
	自ら中間処理により減量する量	0	0	0	0	0							0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分													
①現状(19年度実績)	自ら埋立処分を行った量	0	0	0	0	0							0
	②計画(20年度計画)	0	0	0	0	0							0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
①現状(19年度実績)	全処理委託量	1.40	97.92	0.01	0.17	0.01							99.50
	(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量(22記入無)	0	0	0	0	0							0
	(内訳)再生処理業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0							0
	(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量(22記入無)	0	0	0	0	0							0
	(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0							0
②計画(20年度計画)	全処理委託量	1.57	109.67	0.01	0.19	0.01							111.44
	(内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0							0
	(内訳)再生利用業者へ委託を委託する量	0	0	0	0	0							0
	(内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量	0	0	0	0	0							0
	(内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	0	0	0	0	0							0

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)発生工程フロー



〔管理体制図〕



〔各部署の役割〕

部 署	役 割
環境安全部	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿の作成 産業廃棄物発生の種類毎の発生量、排出量及び集計等 処理委託業者との連絡調整及び定期査察 処理委託業者の適正管理、処理業者との契約、委託量、マニフェスト伝票の発行・管理 産業廃棄物減量化、リサイクル化の社内啓発、部署間の連絡調整 産業廃棄物処理計画の策定 行政への報告等 工場長への連絡・報告
経理部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物処理委託費の支払い・入金確認等 廃棄物排出時の計量・立会い業務 環境安全部との相互連絡
資材部門	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物業者の調査・選定 処理委託費の値決め 請求金額の確認 環境安全部との相互連絡
製造工程	<ul style="list-style-type: none"> 製造工程と性状・発生量等の確認 廃棄物廃棄方法の指示 環境安全部との相互連絡
排水処理施設 廃棄物保管施設 自社中間処理施設	<ul style="list-style-type: none"> 脱水状況(含水量等)の確認 廃棄物保管量の把握 廃棄物処理委託のスケジュール策定 (環境安全部環境課現場部門) 自社中間処理施設運転管理

———▶ 報告 ▶ 指示 ◀——▶ 相互連絡